



- 1「先輩がいると遠慮がちな部分もあるが、2年生のみだと知らなかったパワーが発揮される」と、大編成は2年生、小編成は「3年生からの指導は、刺激になる」と、1年生と3年生で挑戦。先生の戦略も勝因の一つだ
- 2、スピード感と躍動感あるロックダンスが、びったりとそう光景は圧巻
- 3「シリアスフレイバージュニア」は、「6年制の生徒が高等部に進んでも続けられる部活動を」と、高等部より1年早い2016年に創部
- 4、中等部の「シリアスフレイバージュニア」も全国大会に出場している



3年生  
**土性輝星さん**  
躍進の1年をキャプテンとしてリードしてきた。シリアスの魅力は「団結力」。さらにダンスを楽しいと思っている子が集まっている」と話す



2年生  
**草薨麗央さん**  
投票と話し合いで決まった新キャプテン。「先輩が作ってくれたシード権のほか、他の大会の予選も高い順位で突破して、全国に臨みたい」と意気込む

information

**SERIOUS FLAVOR 出演予定**

- 8月3日(金) 13:30~ 三重県献血功労者表彰式  
■三重県総合文化センター小ホール
  - 8月3日(金) 18:00~ パナソニック伊勢工場 夏祭り  
■パナソニック伊勢工場
  - 8月4日(土) 17:00~ スーパーチャンプルzeppツアー  
■Zepp NAGOYA (要チケット)
  - 8月24日(土)・25日(日) 三重高等学校オープンスクール  
9:30~11:30(受付は9:00~)  
■ダンス部は9:00~9:30(説明会場の第一体育館に登場)
- 問い合わせ/学校法人三重高等学校(松阪市久保町1232)  
0598-29-2959

全国優勝ができたならうれしいですが、楽しんで踊ってくれればそれでいい

を動かすのが好きで、高校生活の思い出づくりに結成しました。学校に認めてもらえるチームになるようにと、校訓の『真剣味』を英語にして「シリアスフレイバー」と名付けました」

4年前、教師として母校に帰ってきた神田橋先生。「シリアスはまだ残ってはいないものの、職員の間でも知らない人がほとんどの存在でした」と振り返る。

バレエ部の顧問に就任。「シリアスの活動を少しでも見守りたい」と、校



ダンス部顧問  
**神田橋純先生**  
シリアスの創設者の一人。選曲や振り付けも自らで担当し、生徒からは「優しい」「面白い」「少年のよう」と親しまれている

「楽しいから踊る」が武器  
広がりを見せる発表の舞台

「人生で一番なんじゃないかと思うほど、濃い時間を過ごせました。つら

いときもあつたけれど、楽しかった、嬉しかった思い出ばかりです」と笑顔を見せるのは、6月までキャプテンを務めていた3年生の土性輝星さん。昨年の準優勝を機に、全国ネットの音楽番組にも出演するなど、さまざまな舞台を経験した。

「先輩たちが笑顔で楽しそうに踊る姿を見て、入部しました」と話すのは、新キャプテンで2年生の草薨麗央さん。取材に訪れた7月上旬は、近日中に披露する演目を6つも同時に練習していた。午前と午後で大会とイベントに出演する日もあるなど、シリアス史上最も忙しい夏を迎えている。

7月13日には第100回全国高等学校野球選手権三重大会開会式のオープニングを務め、「栄冠はキミに輝く」に合わせ、野球のフォームを織

り交えた愉快なダンスが好評を博した。8月1日に伊勢サンアリーナで開催される全国高等学校総合体育大会の開会式にも出演を控えている。「頼まれごととは試されごと」と思い、依頼はすべて引き受けています。せっかくなので三重県でのインターハイ。ダンスにもつなげたい」と意気込む。

8月には、昨年準優勝を獲得したDCCにシード校として挑む。「全国優勝ができたならうれしいですが、楽しんで踊ってくればそれでいいです」と神田橋先生。練習中、曲がかかる時、自然と体を動かす部員たち。スピード感のある激しいダンスながら、終始笑顔だ。部員間で教え合っている。高め合う雰囲気は、心からダンスを楽しむシリアスの活躍に目が離せない。

この夏、地域イベントにも積極的に参加し、ダンスで地元を盛り上げる



巻頭特集

チームワークと笑顔で全国を席卷!

SERIOUS

学校法人三重高等学校ダンス部【シリアスフレイバー】

FLAVOR

全国的に名を知られる部活動が多い三重高等学校。そんななか、注目を集めるのが、昨年4月に正式に発足されたダンス部「SERIOUS FLAVOR」だ。初めて出場した「全国高等学校ダンス部選手権」で準優勝に輝いた部は、今夏にいくつもの大会出場を控えるほか、多くのイベントに引っ張りだこだ。

高校生の強みを生かし  
基本に忠実なダンス



100人以上の部員への振り付けの伝達は、まず覚えの早い部員たちが先生の近くと一緒に踊りながら覚える



昨年のDCCでの準優勝後の市役所訪問。地域に元気づけと喜びを与えてくれた



取材した日は、テスト週間明けの初日。「1日も無駄にできない」と計画を立てて、練習に取り組んでいた

「数学の教師と未経験者ばかりの田舎の高校生が純粋にダンスを楽しんでいる」。これがそが、三重高等学校ダンス部「SERIOUS FLAVOR」(以下、シリアス)最大の武器だ。躍進のきっかけとなったのが、昨年8月。全国の高校ダンス部の頂点を決める「第5回全国高等学校ダンス部選手権」(通称、DCC)での準優勝だった。その時の優勝校は、現在もブームが続くバブリーダンスを踊った大阪府立登美丘高等学校の「扇踊(セリアナ)」だ。

DCCでは、自分たちのダンスを漢字2文字で表す。シリアスは、「驚地(まつしぐら)」。ライバル校が衣装やメイクで世界観を作り上げるなか、シンプルな衣装にノーマイク、基本に忠実なロックダンスを踊った。「だからこそ、『驚地』という言葉がぴったりなんです」と話すのは、顧問の神田橋純先生。団体スポーツのような一体感と疾走感あふれるダンスが、審査員の心をつかんだ。

今年のチームは6月の「日本高校

ダンス部選手権夏の公式全国大会」で総合4位に入賞。さらに特別賞を受賞した。「昨年の先輩たちの躍進を受け、プレッシャーもあったと思いますが」と神田橋先生。2年連続での好成績は、チームにとって確かな自信につながった。

一糸乱れぬ動きは、まさに練習のたまもの。「どれだけ忙しくても基礎練習はしっかり。1時間以上行っていない。基礎が体にしみこんでいるからこそ、新しい曲のふり覚えも早いです」

数人規模の同好会から  
100人超えの人気部へ

現在、部には1年生55人、2年生39人、3年生19人の113人が所属。さらに「シリアスジュニア」として、中学部の35人が所属し、約150人の大所帯になっている。

「シリアスは、僕が高3のときに友人5人と作った同好会なんです」と神田橋先生。部としての歴史は1年だが、結成は2006年までさかのぼる。

中高一貫教育校である三重中学校・高校は、6年制と3年制がある。神田橋先生は6年制に通い、学業優先の生活を送っていた。「もともと体